

**小金井市職員
採用案内
2025**

小金井市が求めている人材は 何事も意欲的にチャレンジする“あなた”です。

本市は、玉川上水や国分寺崖線、武蔵野公園、野川公園、小金井公園など、豊かな水とみどりに恵まれた良好な住環境や便利な市内外のアクセスを有し、元気な高齢者が多く、教育環境が充実し、市民の自治・参加意識が高いという特徴があります。

第5次小金井市基本構想・前期基本計画では、「みんなの暮らしを大切にする まちづくり」「みんなで進める まちづくり」「未来につなげる まちづくり」の3つをまちづくりの基本姿勢とするとともに、私たちの住む小金井市の将来像を、「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」と定め、その実現に向け、基本計画の諸施策を効果的・効率的に実施していくことが必要です。

一方で、今後、新庁舎建設をはじめとした庁舎等複合施設建設事業や、子育て環境の充実、更なる高齢化への対応等の重要課題が山積しています。特に、老朽化した公共施設等の計画的な整備を実施するために多大な費用が見込まれており、市政にかつてない大きさの課題が迫っております。

このような状況下、第3次小金井市人材育成方針のめざす職員像に「市民のしあわせを支えるため、何事も自分ごととして捉え、意欲的にチャレンジする職員」を、また、それを実現するために「市民感覚・市民協働」「経営志向」「チャレンジ精神」「チームワーク」を小金井市職員が育む4つのアプローチとして掲げており、採用に当たっては、「何事も意欲的にチャレンジする」人材を求めています。

【目 次】

- 先輩職員メッセージ・・・・・・・・・・ p.2
- 障がい者採用職員の声・・・・・・・・・・ p.3
- 小金井市で働くということ・・・・・・・・ p.4
- 人事給与制度・・・・・・・・・・ p.6
- 小金井市の組織・・・・・・・・・・ p.8

先輩職員メッセージ

◆現在の仕事内容は？

主に、市立小中学校に勤務する教員の給与、福利厚生等の事務を担当しています。年末調整や住民税に係る事務、社会保険の資格取得手続きなどを行っています。

◆仕事のやりがいとは？

給与や福利厚生は、教員の仕事だけではなく生活にも密接に関わっています。私は、教員の生活環境を整えることで、児童生徒の教育環境がよくなると考えており、そこにやりがいを感じています。

また、日々の業務では各種税金や社会保障制度について理解する必要があるため、自身の生活にも活かしていると実感します。

◆印象的だった市役所の仕事は？

以前所属していた地域安全課での、消防団との災害対応です。

令和元年に発生した台風第19号では、小金井市内に大雨特別警報（土砂災害）が発表され、消防団と一緒に消防ポンプ車で出動し、居住者宅を直接訪問することで確実に避難情報を伝えることができました。

幸い市内に大きな被害が発生することなく、日頃から消防団との連携を図っていたことが迅速な対応につながり、市の職員として、消防団とともに市民の方の安全を守ることに繋がったと思っています。

◆育児休業を取得したきっかけは？

「育児は手伝うものじゃない。夫婦で一緒にするものだよ。」先輩職員からのこの一言がきっかけでした。

小金井市では男性の育児休業を推奨していることもあり、早い段階から育児休業の取得について上司等に相談をし、育児休業を取得することとなりました。

快く背中を押してくださった上司、先輩職員にはとても感謝しています。

◆育児休業期間中や復職後の環境は？

育児に専念できる生活環境とスムーズに復職できる職場環境を整えていただきました。特に育児休業期間後は、徐々に本来の業務に戻ることができるよう、業務分担を配慮していただき、気持ちよく復職することができました。



Fukuyama Yuta
福田 悠太（令和6年当時）

学校教育部指導室教職員係 主事
一般事務

令和元年度入所

地域安全課（4年4か月）→指導室（1年目）



Simoda Yukari
下田 ゆかり（令和6年当時）

福祉保健部自立生活支援課障害福祉係 主事
一般事務

令和元年度入所

広報秘書課（3年4か月）→自立生活支援課（2年目）

◆現在の仕事内容は？

障がいのある方等を対象にした各種手当の申請受付や審査、東京都への進達が主な担当業務です。その他、医療費助成申請の窓口対応や、小金井市障害者就労支援センターとの調整・連絡、障害のある方の相談先のである特定相談支援事業所の指定等に関する事務も担当しています。

◆仕事のやりがいとは？

市役所の業務は多岐に渡るため、様々な分野の業務に様々な角度から携わることができます。自立生活支援課でも以前は、市施設の管理等をしたり、事業所を支援する補助金を創設したりとかなり異なる業務をしていました。培った知識や関係性は、また別の業務で活かすことができるので、様々な経験をしてそれがまた次に繋がり、できることが増えていくことは、やりがいを感じます。

◆仕事を通じて成長したことは？

最初に配属された広報秘書課では、市報を作成したり市の魅力発信を行っていました。市民の方へ市の事業をよりわかりやすく魅力的に伝えるため、様々な部署の職員と連携することが必要だったので、企画力や調整力が向上したと感じます。また、自立生活支援課では、障害福祉事業所等の方と会議をしたり相談を受けたりする機会が多いのですが、内容が担当外の業務であったり前例がなかったりする場合もあります。まずは詳しく聞き取ることを心掛けて、場合によっては例規を確認したり他部署とも連携したりしながら対応するようにして、すぐに判断できないことでも立ち向かえる対応力は身につけてきたと思います。

◆小金井市を就職先に選んだ理由は？

小金井市で生まれ育ったこともあり、昔から市内の公園で遊んだり市内の飲食店に行ったりと身近でした。都心へのアクセスもよく、街も綺麗で穏やかな暮らしができることに魅力を感じていました。市役所職員として、小金井市の良さを守りながら、身近な人々のためにできることをしたいと思い、就職先に選びました。

先輩職員メッセージ

◆現在の仕事内容は？

コミュニティ文化課は集会施設係、文化推進係の2係から成る課です。集会施設係は16ある施設の管理を行っています。文化推進係は市民協働、国際交流・都市間交流、芸術文化推進のほか、市民交流センター、はけの森美術館を管理しています。

仕事は多岐にわたり、型破りな業務も発生します。施設管理は夏の暑さ、ゲリラ豪雨、雪などの天候との闘いです。

美術館の竹林でタケノコを掘る（掘らないとタケノコが石段を持ち上げてしまうからです）こともあれば、市の子ども達と友好都市の三宅島を訪問し、一緒に海で泳ぐこともあります。

新しいことを怖がらずに進められる職員と一緒に働くことができ、想定しないことが起こっても全員で知恵を絞って対応しています。課を飛び出して他課や市民の方に助けてもらったりして、常に誰かと協働する課と言えます。

◆仕事のやりがい？

民間シンクタンクに8年勤め、転職して市にきた自分ですが、公務員の仕事はとても創造的な仕事だと思っています。自分の信じる正義を仕事においてまっすぐ追求できるのが公務員の仕事です。

市の状況は、国の社会情勢と密接に連動しており、ニュースで取り上げられる社会課題はすべて、いつか自分達が仕事で取り組むべき課題です。文献や他市事例の調査をしたことが、すぐに仕事に結びつくことが仕事の中でも好きな部分です。

自分1人では解決できない課題を、職員や市民の方と相談しあって知恵を出し合い、一歩でも先に進めた時は、自分の限界を超えられたやりがいを感じます。

◆仕事と育児の両立をするうえで心がけていることは？

家族全員が同レベルで家事を回せるよう心がけています。そして女性の場合は意識して家事をがんばらないことです。

管理職としては、男性職員に育児休業を取るよう薦めています。庁内の若い世代では育児休業取得、保育園送迎、子どもが病気の時の対応に男女差がなくなっており、よい変化だと思っています。

人員不足時に業務が回る工夫をすること、職員同士快く助け合おう環境であることは、育児以外でも働きやすい職場づくりであるにとらえています。



Nakagawa Noriko
中川 法子

市民部コミュニティ文化課 課長
一般事務

平成23年度入所

市民税課（3年10か月）→地域福祉課（3年4か月）

→公民館（4年）→企画政策課（1年）

→コミュニティ文化課（3年目）

障がい者採用職員の声

小金井市では、障がいの有無や種別・程度等にかかわらず、市職員として一緒に働いていただける方を募集しています。別枠で、障がいのある方を対象とした試験区分を設けて、試験を実施しており、様々な方々が活躍しています。

障がいにより受験上の配慮、仕事をしていく上で一定の配慮が必要な方については、受験申込時や面接試験時にお申し付けください。

体調不調の時などは、上司や同僚に相談し、適度に休暇を活用し、あまりプレッシャーを感じずに落ち着いて働いています。障がいの有無に関わらず、困ったときは周囲に相談し、フォローし合える環境があるので、充実した日々を送っています。

障がいについては上司に事前に事情を伝えており、通院や体調不良の際には配慮をいただいています。仕事内容については、障がいの有無に関わらず、他の職員と同様に責任とやりがいをもって仕事に取り組んでいます。

一人でできないことがあるときなど、困っていると、すぐに周りの人が声をかけてくれるので、とても助かっています。周りの方のサポートのおかげで、障がいがあることを気にせず、仕事ができています。

実際に働いてみて感じたことは、通院のための休暇取得など合理的配慮もあり、重要な業務も任せてもらえる環境だということです。入庁後の職場・業務環境等についての不安は、説明会や面接などでどんどん質問して不安を解消してください。

小金井市で働くということ

役所といっても組織の規模や職場風土、地域の歴史等により、仕事の進め方や職場の雰囲気は大きく異なります。小金井市で働くことは、国の省庁や東京都、他の市区町村で働くことと比べて以下のような特徴があります。

国の省庁、東京都と比べて

☆「現場」があること

国や東京都と比べての最大の違いは、やはり「現場」があることです。市民の方と直接かかわる機会が多く、厳しいご指摘をいただくこともあります。喜んでいただいたときの反応がダイレクトに感じとれるのが醍醐味だと思います。特に、自分で考え工夫したものや、苦勞を乗り越え実施したものに対して、反応が直接返ってくるのは魅力です。

また、「現場」があるということは、政策情報にあふれているということです。公害規制、建築指導、景観規制、歴史的まちなみの保存、コンパクトシティ、中心市街地活性化、介護予防、情報公開、行政評価、事業仕分け、動物園の行動観察、施設の夜間ライトアップ…。

これらすべて自治体発で、全国に広まったものです。自治体職員が地域の課題を解決するために、必死に考え、実施したものが、実際に成果をあげて、全国に広がったのです。先進的な政策を考えるための材料は、机上ではなく、現場にあります（その意味で、地域の課題を敏感に察知する力は必要となります）。先進的な政策は、「現場」がある市区町村でこそ作れるといえるのです。

☆市民生活に密着

「朝起きてから夜寝るまで」「生まれてから死ぬまで」市民生活を支えるのが基礎自治体たる市区町村の仕事です。

まず、皆さんの一日で見てみましょう。朝起きて顔を洗うのに、下水道を利用。通学通勤前にごみ出しを終えます（ごみ収集・処理）。通学通勤のため、市道を通り、街路樹を横目に駅前へ。駅前には、再開発や区画整理によって整備され、自転車も撤去されて歩きやすい。通勤通学から帰るころには街路灯にも灯がともっている。寝る前にはお風呂に入るのに、下水道を利用。

次に、皆さんの一生で見てみます。まず生まれたら、出生届。乳幼児の健康診断を受診。親が働いていれば、保育園。就学年齢になったら、小中学校。放課後は、学童保育所、児童館、図書館、公園を利用。20歳になったら、国民年金。働き始めたら、住民税を納める。結婚したら、婚姻届。仕事の余暇に、図書館、体育館を利用することも。退職したら国民健康保険に加入し、75歳になったら後期高齢者医療制度。介護が必要になったら、介護保険を利用。そして、亡くなったら死亡届。最後に、市民葬もあります。

このように、基礎自治体の仕事は、「朝起きてから夜寝るまで」「生まれてから死ぬまで」、目に見えるところから見えないところまで市民生活を支える大切な仕事なのです。

☆仕事の幅の広さ

出生届、婚姻届、死亡届／保育園、小中学校、図書館、公民館／国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療制度、障害者自立支援、生活保護／下水道、ごみ収集・処理、市道、私道、街路灯修理、防災・防犯、各種施設の運営／市税の課税・徴収／財政・契約・会計・監査・法務・人事・広報・議会事務・選挙事務…。

これらすべて市役所がしている仕事です。本当に多岐にわたる分野があることが分かります。実際、「市役所内の異動は転職のようなもの」と言われています。

もちろん、仕事によって、求められる知識や能力は大きく異なります。たとえば、税務や福祉の仕事であれば、法令や制度の知識が必要になりますし、市民との協働事業を行う場合は、事業の企画力、他団体や市民との交渉・調整能力が必要となります。

このように、仕事の幅が広く、求められる資質・能力が多様ということは、自分の能力を伸ばしたり、適性を発揮したりするチャンスに恵まれているともいえます。

☆広域的な転勤がない

小金井市は4km四方とコンパクトなため、広域的な転勤がないのもメリットです。腰を落ち着けて、じっくりと地域の課題に取り組んでいきたい人には最適ですし、安心してライフプランを考えることもできます。

小金井市で働くということ

他の市区町村と比べて

☆コンパクトシティ

市の面積と市役所の組織が大き過ぎず、小さ過ぎず、手頃な大きさです。

4 km四方に人口が約12万4千人。特徴として、住宅用地が非常に多く、閑静な住宅地を形成しています。また、ほぼ市の中心に中央線の武蔵小金井駅があり、駅周辺には商業施設が集積していることから、生活の利便性は高くなっています。

一般会計予算は約541億円程度。市民の顔を見ながら一定規模の仕事ができるちょうどよい大きさです。大都市ではこうはいかないです。

職員数は約660人。お互いの顔と名前が分かる中で仕事ができるのは魅力的です。2千人以上の大規模な自治体では、半数以上お互いの顔なんて分からないでしょう。

☆都心までのアクセスの良さ

新宿までは中央線一本で25分。都心まで通勤通学等で行くのに、遠すぎず近すぎずの絶妙の距離です。

☆みどりが多い

北には桜の名所として知られる小金井公園、南には武蔵野公園・野川公園と、公園に囲まれています。美しく質の高いみどりと水は小金井市の大きな魅力の一つです。

☆安定財源

このような「通勤が便利」「みどりが多い」といった住環境のよさも一因となり、小金井市に住みたい、住み続けたいという方は多くなっており、老年・生産年齢・年少人口の全ての年齢区分で微増傾向で推移しています。また、市民1人当たりの個人住民税額は、都内他市（26市）と比較して高水準であり、財政上安定した財源となっています。

☆職場の雰囲気 — 「若手職員の多さ」と「仕事のチャンス」

小金井市役所は、全職員のうち20歳代の割合が約12%、30歳代が約27%と若手職員が多いのが特徴です。

小金井市の場合、若手職員の割合が多いだけでなく、入所数年目の職員でも各職場の中軸となって活躍している人も多く、活気に満ちた職場となっています。実際やる気があれば仕事のチャンスには恵まれています。市役所に入って、数年の職員でも、各職場における重要な業務を任せられたり、市の将来について考えるプロジェクトチームに参加したりする人もいます。

人事給与制度

人材はまさに人財であり、小金井市役所の使命を果たすために大切なのは「人」です。

職員には、自己実現を図るとともに、自分磨きに努めることが求められ、そのためにも各種人事制度や研修制度を整備しています。

人事異動

職員の人事異動は、職務の能率向上（人材育成、能力開発の視点）と効率的な公務の遂行（組織力の向上、活性化）により、市民サービスの向上を図るために実施します。

【目的】

▼ 人材育成、能力開発の視点

- ・ 新たな能力の開発
- ・ 新たな視点の獲得
- ・ 人的ネットワークの形成

▼ 組織力の向上、活性化

- ・ 適材適所の配置による組織力の向上
- ・ 新たな人材による組織の活性化
- ・ マンネリ化の防止、不正の防止

【方針】

採用から10年間で能力養成期と位置づけ、この期間に原則3つの行政分野を経験し、自らの適性等を踏まえキャリアデザインを行います。

なお、専門職及び技能労務職については担う分野が限られており、実情に応じて対応します。

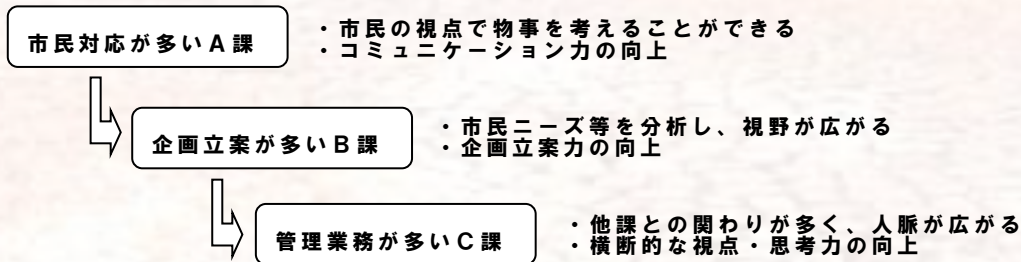
★ 能力養成期・・・採用～10年間

基礎能力の育成を図るとともに、自らの適性等を踏まえ、キャリアデザインを行う時期

★ 能力発揮期

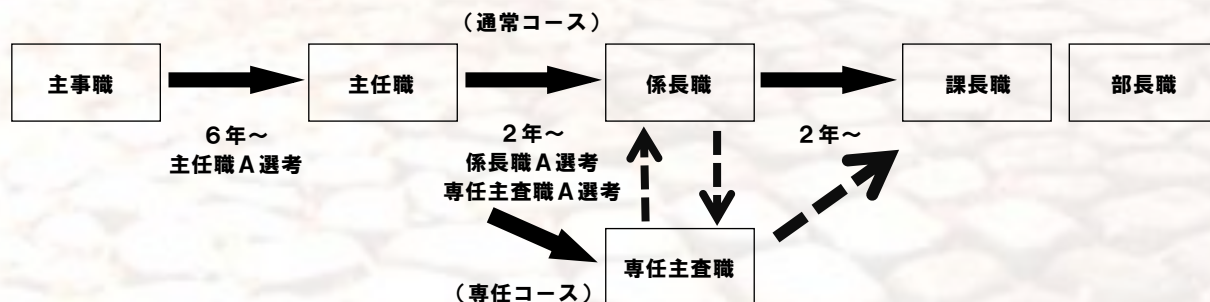
自らの使命と責任を果たし、専門性の高い能力を発揮する時期

《能力養成期の人事異動イメージ》



昇任制度

意欲と能力のある職員を積極的に登用するため、一般職員の昇任については昇任試験を実施しています。大学卒業の場合、最短30代前半で係長職に昇任することが可能です。また、特定の分野・業務に精通・習熟した専門スタッフ職としての専任主査職もあり、本人希望にも配慮した昇任ルートが設けられています。



人事評価

人事評価制度は職務について実績と能力を評価するものです。職員が自分の能力レベルを知り、能力開発に役立てることや適材適所の配置等を実現し、組織力を高めることを目的としています。

- 職員の能力開発、人材育成
- 客観的かつ公平で信頼性の高い人事管理の実施
- 組織力の向上を目的とし、上司との定期的な面接の実施などを通じ、職員1人ひとりがやりがいをもって職務を行えるような制度となっています。

研修制度

小金井市では、これからの研修のあり方について、職員の育成を通じて、いかに組織全体として力を押し上げていけるかを考え、「人を育てる職場環境づくり」及び「実践的な職員研修制度づくり」の2つを重点項目として職員研修を実施しています。

◆人を育てる職場環境づくり

小金井市ではチューター制度を導入しています。

新入職員が4月に職場配属された後、各職場の先輩がチューターとなり、新入職員をマンツーマンで指導・育成に当たります。

新人やチューター等に対する研修も年間を通じ行っており、新入職員をバックアップする体制が整備されているので、安心して業務に取り組むことができます。

◆実践的な職員研修制度づくり

1. 職層別研修

それぞれの職層ごとに求められる基礎知識及び技能を修得、さらには新しい行政ニーズに対応できる職員を育てる実践的な研修を実施しています。

例えば、2年目の職員を対象に、市民との協働意識の向上を図ることや地域貢献意識の向上を図ることを目的とし、NPO団体の業務を実際に体験するNPO派遣研修を実施しています。

主な新入職員研修

時 期	内 容
4 月	新任研修
5 月頃	新任研修（Ⅰ期）（市町村職員研修所）
8 月頃	新任研修（Ⅱ期）（市町村職員研修所）
9 月頃	体験研修（総合防災訓練参加）
3 月	新人総括会

2. 実務研修

業務を遂行していく上で、必要不可欠な能力（文書実務や財務会計、経理実務等）を身につけられるよう幅広く研修を実施しています。

3. 特別研修

その時代に合った、多角的・総合的な研修カリキュラムを構築し、実施しています。

4. 派遣研修

東京都の市町村等が合同で運営する、東京都市町村職員研修所が実施する研修に積極的に職員を派遣しています。東京都市町村職員研修所では職層別研修から実務研修、能力開発研修等の多彩なカリキュラムが組まれています。

また、周辺自治体との合同研修や外部研修機関への派遣を行い、市単独では実施が困難な専門職の研修や、高度な内容の研修へ参加を促すことにより総合的な能力向上を図っています。

5. 自主研修

能力開発の基本は自己啓発であり、職員自身が主体的に取り組んでいくことが重要です。職員の意欲を喚起するような自己啓発支援を行っています。

勤務条件

◆給与

試験区分	初任給
上級職	月額 約 261,580 円（大学新卒の場合）
中級職	月額 約 231,652 円（短大新卒の場合）

令和7年4月1日現在の給料月額に地域手当を加えた金額です。

その他に扶養手当、通勤手当、住居手当及び期末・勤勉手当等が支給されます。

学校卒業後に職歴等がある方は、一定の基準により加算される場合があります。

なお、採用前に給与改定等があった場合は、その定めるところとなります。

◆勤務時間

8時30分～17時15分（うち休憩1時間）

週38時間45分勤務

※配属等によって異なる場合があります。

※決められた勤務パターンの勤務時間帯に変更することが可能です。

◆休日・休暇

【休日】

週休2日制（土・日以外の曜日を休日として指定される場合があります。）

※配属等によって異なる場合があります。

【休暇】

年次有給休暇（1年間に20日付与）、夏季休暇、忌引休暇、結婚休暇、産前産後の休養、育児休業、部分休業、介護休暇等があります。

また、職員が自主的に社会貢献活動に参加し、視野を広げること支援しており、地域イベント参加のためのボランティア休暇制度を設けています。

◆福利厚生

【共済制度】

保険給付、共済年金、福祉事業等

【公務災害補償制度】

公務災害、通勤災害等

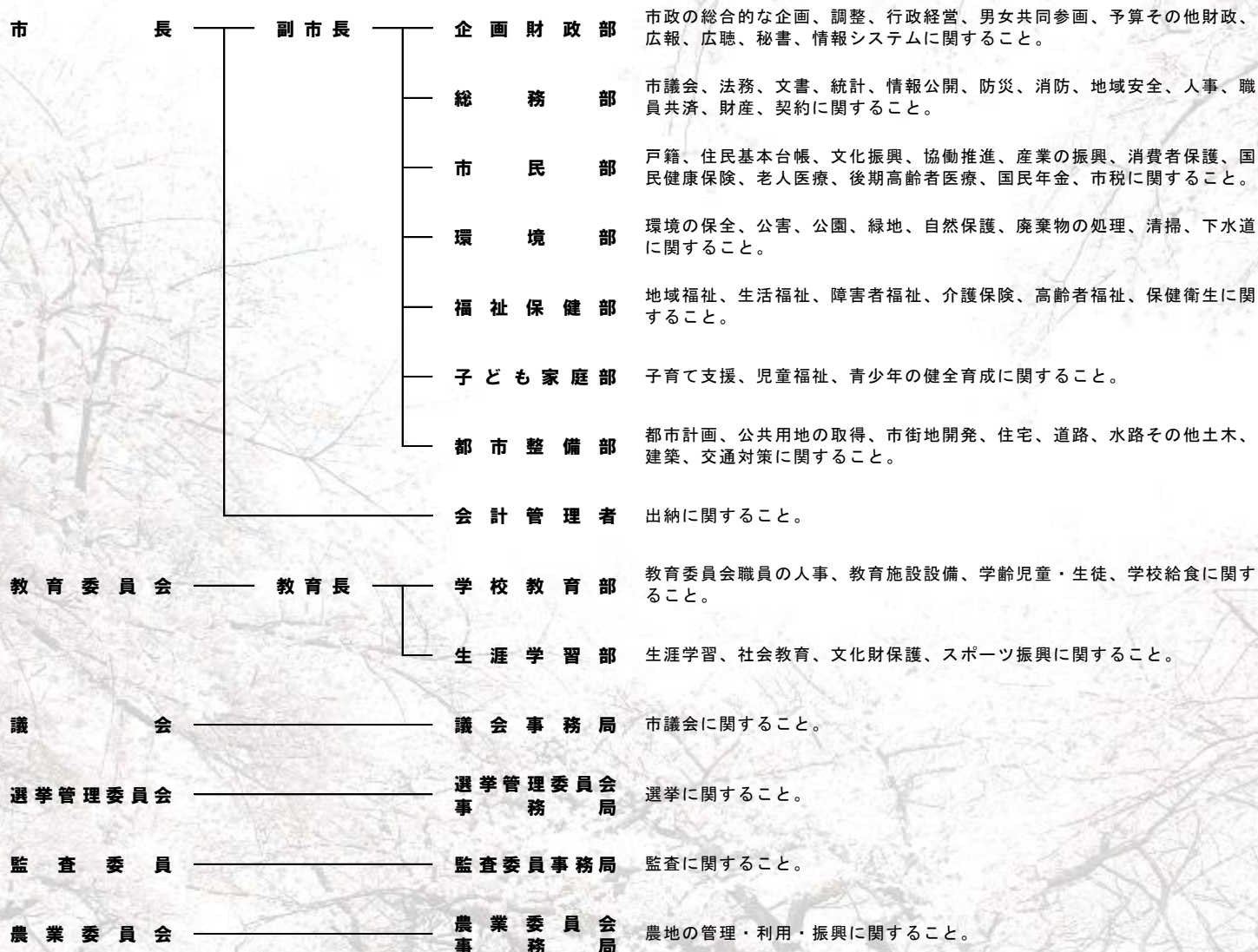
【安全衛生管理】

定期健康診断、産業医による健康相談等

【互助会制度】

カフェテリアプラン事業、各種福利厚生サービスの割引提供、慶弔金の給付等

小金井市の組織



【問合せ先】

小金井市総務部職員課人事研修係（小金井市役所本庁舎 1 階）

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

電 話 042-387-9808（直通）

E-mail s020399@koganei-shi.jp

http://www.city.koganei.lg.jp/



© Studio Ghibli

小金井市イメージキャラクターこきんちゃん